

第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画（案）

市民コメントに対する回答

意見の提出者1名、意見の件数6件

No.	寄せられた意見	市の考え方
1	全体を通して 本計画は行政が策定するもので公用文に該当します。公用文の作成に当たっては基準やガイドラインがあります。 ①正確に書く、分かりやすく書く、気持ちに配慮して書く。本計画は、市民、保健・医療・福祉などの関係者が読み手になると思いますが、特に市民にとって分かりやすくなるよう仕上げてほしいと思います。 ②常用漢字表に原則拘束されます。平仮名が妥当かと思われる言葉の表記については、よく検討ください。例として口腔（腔は常用漢字外）・徘徊（2文字とも常用漢字外）・排泄（泄は常用漢字外）…障がい者計画では排せつと表記（平仮名表記又は基準では振り仮名を付ける） ③送り仮名の記載も難しい言葉があるので、十分注意してください。 ④「等」、「など」は、本当に必要かどうかよく見てください。 ⑤普及啓発、普及・啓発 使い分けがあるのでしょうか。	公用文の基準、ガイドラインに即した表現を心掛けております。常用漢字表による標記を原則としておりますが、常用漢字表にない表現を使用する場合は振り仮名を付け、読みやすくなるよう努めてまいります。
2	前計画(令和5年度まで)の評価、振り返り 令和3年度からの3年間の事業の実績値が記載されているところもございますが、前計画の中で、いろいろな施策、事業を実施してきたと思います。この期間で、実施してきたこと、改善されたこと、成果などはどうなっているのでしょうか。達成状況等の最終的評価を実施するとともに、目指すべき方向性や達成すべき目標の再検討を行い、本計画の策定に当たっていると思いますが、どうなっているのでしょうか。これはできたけどあれはできなかったということがあり、本計画への反映につながっていると思います。 令和5年12月27日の日高市高齢者福祉計画・介護事業保険事業計画策定委員会に提出された資料に進捗状況などがあり、この資料を調整して本計画に記載されたらどうでしょうか。3年間の評価の記載をお願いしたいと思います。	本計画案作成の時点においては第8期計画の期間中であり、計画期間の実績を総括することができません。ご指摘の委員会に提出した資料においても、3か年の最終年度は見込み値ないし途中経過の数値となっており、第9期計画への第8期計画の成果の記載は難しいと考えております。なお、基本目標の指標につきましては、今後結果の確定後に市ホームページでの公表を予定しております。

3	計画の進め方 過去からの実績や今後の推計などから、計画値という言葉で事業が設定されているところが多くあります。計画値の増減が見込まれると思いますので、予算を適正に過不足なく執行していただきたいと思います。 本計画は3年間で、総合計画実施計画の3年間と同一です。毎年度策定の総合計画実施計画と連動し、財政的には大変厳しいと思いますが、効果的、効率的に施策の展開を進めていただきたいと思います。	本事業計画においては、介護サービス量等の見込みから、事業量を推計し、計画を策定することで、必要な保険料の算定を行っているため、「目標」ではなく「計画値」として掲載しております。 上位計画である日高市総合計画と一体的に事業を実施するうえで、効果的、効率的に施策を展開できるよう、努めてまいります。
4	用語解説 P45にUDフォント、WEBアクセシビリティなどなじみが無く難しい言葉が出てきます。まとめて、用語解説を設けて記載する方法、その都度そのページに記載する方法があると思いますが、記載していただきたいと思います。	計画書冊子巻末に参考資料として用語解説(P84から)を掲載いたしました。
5	市民コメント 市民コメントを実施して、「どのような意見が寄せられ、回答内容はこうであった。」と記載していただければと思います。	計画書冊子巻末に参考資料として(このページを)掲載いたしました。
6	計画の推進 本市は少子高齢化の進展、人口減少、3人に1人は65歳以上の高齢者で、更にこれが加速度的になることが予測されます。高齢者福祉対策、介護保険事業は、本当に待ったなしの施策の展開が求められています。職員、関係機関、市民一体となって、安全で安心な明るいまちづくりが進めばと思います。	ご指摘の通り、今後も高齢化の進展が予測されております。職員、関係機関、市民の皆様が一体となって施策を実施できますよう、皆様のご協力をお願いいたします。